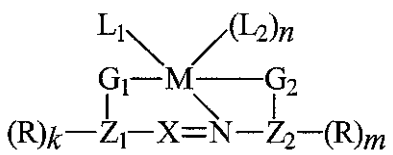
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年8月14日(2008.8.14)

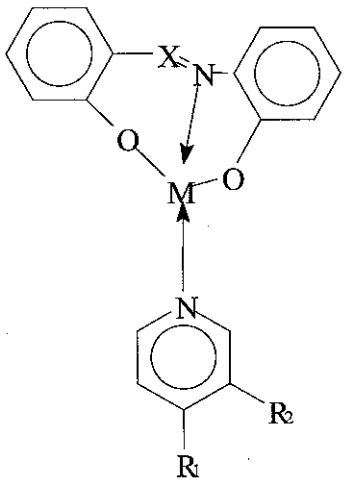
【公表番号】特表2004-506616(P2004-506616A)
【公表日】平成16年3月4日(2004.3.4)
【年通号数】公開・登録公報2004-009
【出願番号】特願2002-508488(P2002-508488)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/282　(2006.01)
Ａ０１Ｎ　55/02　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/28　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/48　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/18　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/22　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/282
Ａ０１Ｎ　55/02　Ｇ
Ａ６１Ｋ　31/28
Ａ６１Ｋ　47/48
Ａ６１Ｐ　31/04
Ａ６１Ｐ　31/10
Ａ６１Ｐ　31/12
Ａ６１Ｐ　31/16
Ａ６１Ｐ　31/18
Ａ６１Ｐ　31/22

【手続補正書】
【提出日】平成20年6月16日(2008.6.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　微生物の存在の制限方法であって、前記方法が、微生物と、下記の式：
【化１】



（ここで、
Z_1とZ_2は各々別個に５～１４個の環原子を有する芳香族炭化水素核を表し；
G_1とG_2は各々別個に、G_1とG_2がZ_1およびZ_2のうちの少なくとも１つの内部に含まれるか、またはそれから張り出していてもよいような金属配位子化基を表し；
Ｒは、水素原子、ハロゲン原子、アルキル基、アシルアミノ基、アルコキシ基、スルホンアミド基、アリール基、チオール基、アルキルチオ基、アリールチオ基、アルキルアミノ基、アリールアミノ基、アミノ基、アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、ニトロ基、シアノ基、アルキルスルホニルまたはアリールスルホニル基、アルキルスルホキシルまたはアリールスルホキシル基、アリールオキシル基、ヒドロキシル基、チオアミド、カルバモイル基、スルファモイル基、ホルミル基、アシル基、ウレイド基、アリールオキシカルボニル基、シリル基、またはスルホアルコキシ基を表し；
L_1は、R_1またはR_2で置換、またはR_1とR_2の両方で置換された窒素複素環を表し；
R_1とR_2は各々別個に、ポリマー結合基、水素、ハロゲン原子、アルキル基、ビニル基、ヒドロキシアルキル基、アシルアミノ基、アルコキシ基、スルホンアミド基、アリール基、アルキルチオ基、アルキルアミノ基、アルコキシカルボニル基、アシルオキシ基、アリルスルホニル基、アルキルスルホキシル基、アルキルカルバモイル基、アルキルスルファモイル基、ホルミル基、アシル基、シリル基、またはスルホアルコキシ基を表し；ここで、R_1およびR_2のうちの少なくとも１つがポリマー結合基を表し；
L_2は、単座または多座配位子を表し；
Ｘは、窒素またはメチン基を表し；
Ｍは、白金またはパラジウム原子を表し；そして
ｋ、ｍ、およびｎは４以下の整数である。）
を有する化合物を含んでいるポリマー結合金属含有組成物とを接触させることを含む、微生物の存在の制限方法。

【請求項２】　下記の式：
【化２】



（ここで、
R_1とR_2は各々別個に、Ｈまたはポリウレタン結合基を表し（ただし、R_1およびR_2のうちの少なくとも１つはポリウレタン結合基を表す）；
Ｘは窒素またはメチン基を表し；そして
Ｍは白金またはパラジウム原子を表す。）
のポリマー結合金属含有化合物。